

[抄録様式]

| | |
|---|--|
| <p>公益財団法人 8020 推進財団 令和 3 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p> | |
| 1. 事業名： | 長野市内における障害者福祉施設での歯科健診および口腔ケアの取り組み |
| 2. 申請者名： | 公益社団法人 長野市歯科医師会 会長 小林 博昭 |
| 3. 実施組織： | 公益社団法人 長野市歯科医師会 地域保健部（在宅・障害者担当） 社会福祉法人 長野市社会事業協会 長野市障害者福祉施設 栗田園 |
| 4. 事業の概要： | 長野市内開設の障害者福祉施設・栗田園において、施設を利用する知的障害者に対し歯科健診及び歯科衛生士による口腔ケアを行った。 |
| 5. 事業の内容： | 障害者福祉施設・栗田園を利用している知的障害者に対し、令和 3 年 11 月に口腔内診査と口腔衛生指導を行い、同年 11 月から令和 4 年 3 月まで毎月 1 回歯科衛生士による口腔衛生指導を行った。（令和 4 年 2 月は中止）令和 4 年 3 月に再度口腔内診査を行い、その結果を考察した。 |
| 6. 実施後の評価（今後の課題）： | 栗田園の口腔ケアは今年で 9 年目となった。障害者施設における口腔ケアは、知的障害者の口腔の健康を維持する上で一定の効果があると推定される。しかしながら、継続的な口腔衛生管理を実践するためには、施設利用者にかかりつけ歯科医院を持ってもらうことが大切であり口腔内診査の結果に基づき、歯科医院受診を勧めた人が複数いるが、歯科医院受診には至らなかった。このことに関しても、身近での新型コロナウイルス感染者の発生が、受診控えにつながったようである。来年度はより多くの施設利用者に歯科健診を受診してもらい、本年度参加できなかった方についても口腔衛生に関する意識の向上に努められれば良いと感じた。また、同様な健診事業が、他の施設でも実施できるようになることを期待する。将来的には長野市の健診事業となるように、行政にも働きかけていきたい。 |